

# Aquascope 3 漏水探索機

## クイックマニュアル

### 【1】 梱包内容：

ベルト付アンプ	1
ステレオヘッドフォン	1
接続ケーブル	1
グラウンドマイク	1
グラウンドマイクロッド	1
ハンドプローブマイク	1
探査棒	3
トライポッド	1
磁石	1



### 【2】 探索準備

#### ① グラウンドマイク

黒いハンドルが付いたグラウンドマイクロッドをグラウンドマイクにねじ込みます。接続ケーブルの4ピン側を黒のハンドルへ差込口の凹凸を合わせるよう挿入後ねじこんで固定します。接続ケーブルの2ピン側はアンプ下部の差込口へ赤い点をあわせるようにして挿入します。

#### ② 探査棒

3本の探査棒を適当な長さになる数だけつなぎハンドプローブマイクにねじ込みます。接続ケーブルの4ピン側をハンドプローブ側へ差込口の凹凸を合わせるよう挿入後ねじこんで固定します。接続ケーブルの2ピン側はアンプ下部の差込口へ赤い点をあわせるようにして挿入します。ハンドプローブはパイプや器具から直接音を聞くのに使用します。このように直接探査する場合は、フィルターオフモードをおすすめします。

#### ③ トライポッド

芝地といった柔らかな地盤では、グラウンドマイクセンサーと地面の接触が充分ではありません。磁石をハンドプローブ内にねじ込み後、磁石側をトライポッド脚部へ付けます。接続ケーブルを②と同様に接続します。接続ケーブルはハンドプローブ上げ下げや移動したりするのに使用できます。

## 【2】操作方法

### ●アンプの電源投入

アンプにはON/OFFスイッチがありません。ケーブルをアンプに接続すると、アンプの電源が入りケーブルが外されるまで待機モード状態となります。電源が入ると(待機モード)画面に電池残量表示・フィルター設定・ボリューム設定・信号強度が表示されます。

注意：電池の消耗を防ぐためアクアスコープ3をご利用後は必ずケーブルを抜いてください。

### ●漏水音の聴き方

アンプの上部・画面表示の左側は聴音ボタンです。このボタンを押すと漏水音を聴くことができます。ボタンを離すとアンプはミュート(消音)モードに戻ります。

### ●画面について

下記の情報が画面に表示されます。

#### ①フィルターモード

上部左隅にフィルターモードが表示されます。“Filter off”(フィルター解除)もしくは“Filter on”(フィルター有効)が設定されている通過帯域周波数の値とともに表示されます。(例：700Hz)

#### ②電池残量

上部右隅のバッテリー記号は電池の実容量を示しています

#### ③ボリューム

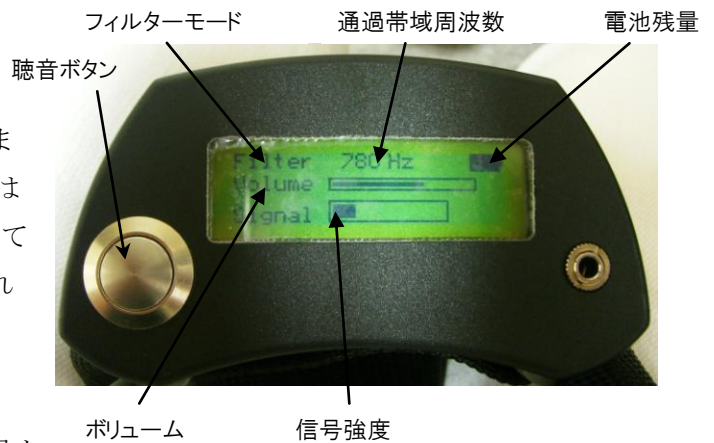
画面上部のバーは選択されているボリュームレベルを表しています。

#### ④信号強度

画面下部の左手端より伸びているバーで実信号強度を表しています。

#### ⑤最低ノイズレベル

画面下部の右隅に、最低ノイズレベル(00~99)が探聴中に表示されます。探聴ボタンが押されると(離されるまで)アクアスコープ3は自動的に最低ノイズレベルのサンプルを取り記憶し、周囲の雑音を取り除いた真の漏水音を表示します。探聴ボタンを離すと、この値は自動的にメモリーに保存されます。8回の最新漏水値を呼び出して画面に表示することが可能です。



最低ノイズレベル



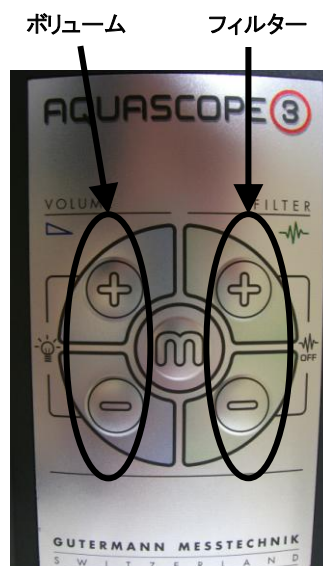
## ●フィルター設定と変更

アンプ前面の5つのキーによりいつでも設定の変更ができます。アンプに少し慣れてくると手元を見なくても設定変更できるようになります。

装着ベルトで着用した状態のアンプを上から眺めた状態で、左手側にある2つのキーでフィルターの設定・選択を行います。両方のフィルターキーを同時に押すとフィルターモードのON/OFFが行えます。現在のフィルターモードの状態が画面に表示されます（Filter On/ Filter Off）。次回電源投入時は最後に設定した状態で復帰します。

フィルターオフの状態では、全てのバンドにおける漏水音が聞こえます。このモードはハンドプローブを探查棒として使用する場合にお勧めです。

周囲の雑音や騒音で漏水調査に支障がある場合はフィルターモードをONにすることをおすすめします。このモードにより狭周波数帯通過フィルターが作動、周波数レベルを〔+〕キーで増加、〔-〕キーで減少へと広範囲に調整でき、望ましくない騒音や雑音を抑え、真の漏水音の周波数まで可聴域を狭めます。表示画面には FilterOn の表示とともに、現在適用されている実通過帯域周波数の値が中央に現れます。



## ●ボリュームの選択と変更

装着ベルトで着用した状態のアンプを上から眺めた状態で、右手側にある2つのキー（青色の〔+〕〔-〕）によりヘッドホンの音量が調整できます。〔-〕キーで音量を下げ、〔+〕キーで音量を上げます。

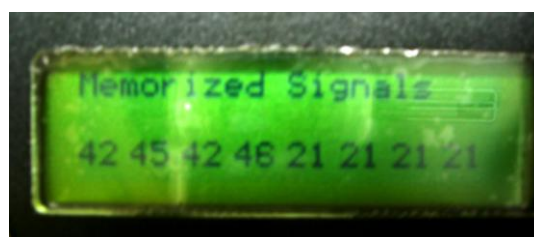
## ●バックライト

ボリュームキーの〔+〕〔-〕を同時に押すと、必要に応じてバックライトのON/OFFが行えます。バックライトが灯ると電池消耗は3倍になり、電池寿命が短くなります。

電池消耗防止機能：探聴ボタンを含めて10秒以上キーの操作がまったくない場合、バックライトが自動的に消灯します。すぐにいずれかのキーを押すと、バックライトは再点灯します。

## ●漏水音レベルの保存方法

実漏水音レベルは画面右下隅に00~99のデジタル値で表されます。探聴ボタンを離すと、この値は自動的にアンプメモリーに保存されます。操作パネル中央の[m]キーを押すと、過去8回までの漏水音レベルの値が古い順に左側から右側へ表示され、比較検討することができます。



古 → 新

## ●電池の交換

アンプの裏側が電池収納部となっており、電池蓋を持ち上げるとアルカリ単三乾電池4本入るようになっています。画面のバッテリー寿命表示により電池の交換が必要になった場合は、必ず4本すべて同時に新しい電池に交換してください。電池を挿入する時は電池の向きにご注意ください。